

【第2回】保育所の保育環境、保育士の一日

本講座では保育所がどのような施設であるのか、またそこで保育士がどういった役割を果たしているのかについて神奈川県鎌倉市にある認可保育所「こぼとナーサリー」で営まれる保育の様態を具体的な例として取り上げ、園長である飯野幸江先生とともに解説しました。

こぼとナーサリー園長 飯野 幸江先生よりご挨拶



●保育所の保育環境

認可保育所の保育環境について、日々営まれている保育内容や実際にそこで過ごしている子どもたちの姿を交えながら0・1歳児室、2歳児室、ランチルーム、園庭について動画で紹介しました。常勤職員“+α”になる子育て支援員の方々は園の保育に欠かすことのできない存在であるとのことで、子どもへの対応や環境整備のフォローなど実際の保育中の動きについてもお話を伺うことができました。

園庭へ



●保育士の日

保育士の日を園生活の1日の流れを追いながら写真や動画で紹介しました。認可保育所は児童福祉施設として子育て家庭を支援するため早朝から夜まで開園しています。子どもが長時間過ごす場所ですので保育士は環境を整えて安心・安全に過ごせるよう配慮するとともに、子どもたちが多様な経験をできるように活動計画を立案しています。また、1日24時間を通して家庭と園とで子育てをしているため、朝晩の送迎時や連絡帳などのツールを用いて保護者と日々欠かさずコミュニケーションをとっています。



●飯野先生へのインタビュー

最後に、飯野先生へのインタビューを通して低年齢児の保育において大切にしたいことや留意点、子育て支援員の役割などについてお聞きしました。人的環境として子どもたちにより影響を与える大人の存在は子どもたちの豊かな生活や心の育ちにとって重要な役割を果たすため、園内にとどまらず園外・地域の人的資源も活用して保育を展開されているとのことでした。保育や子育てに興味をお持ちになった方は、資格の有無にかかわらずまずは近隣の園を訪れて自分にも何かできることがないか相談してみてください。きっと子どもたち・働く保護者の方々の力となることができるでしょう。

